

弓道なごの

第42号

発行：長野県弓道連盟
会長 土川俊市
〒399-6303
塩尻市奈良井611
TEL0264(34)3063
編集：県弓連広報部
印刷：(株)成進印刷

巻頭言

心・技・体について

長野県弓道連盟副会長

重田 功



弓道とは、自分自心との戦いである。それには自分の技量、体調、精神状態に左右されて、上手く出来なく

ても、誰も責める訳にはいかない。それには日頃の稽古によって射法、射技の真髄を学び、己の精神の鍛錬や、集中力を高める事にも修練する事によって、何時でも平常心で心身を、乱す事のないようにしなくてはならない。

弓道は一貫して入場から退場まで正しさ(基本)を要求され、それに応えなければならぬ。多人数での行射ではテンポよくリズムにのっての入場として氣息正しく歩行に移る、一番立の者は後の射手に意を持ち息合には特

に注意し体配、動作に正しさを發揮しなくてはならない。後の射手も常に息合いに合わせ関係を保ち全体の運行に従いこれに協力するのが肝心である。

それには小さな(短い)動作ほど息合いに気を付ける。右足を半足引く、足踏み前の物見、矢番え時の乙矢の打ち込み、弓構え時の取懸け、物見を定める、物見を戻す、足をとじる、等の動作は特に意識して息合いに合わせてほしい、吸うて吐くが心気の動作であること。技の働きは、一番大切な動作です。弓構えでは、取懸け、手の内を整える訳ですが右拇指は反るように伸ばし、弦枕を弦にかけ、弦と拇指の軸が十文字になるようにする、人差し指に添えて内側に捻りを加える、この力は離れの時まで持続する、手の内を整えるでは、弓の構造上からも大切である。左手天文筋に外竹の左角を当て拇

指と小指は近づけて柔らかく握る、打起し後、大三へ移行する時には左手拇指(角見)は中指の上から重なるように並べ巻き込むように弓に添え返りを加えて伸ばす、添えた三指の指先で弓を前方へと力を加える、右腕は後側に反るように高く取る、引分けもただ引分けるだけではない前記の力に弓手は上押し、中押しに気配りし的に真つすぐ押し込んでいく、妻手の躰は弦にあらずけ肘より弓手と水平に矢の本矧は目頭の上を通り、矢と両肩が近寄るよう引分ける、其の際妻手は躰解きをする、弦にあずけた躰は妻手とは逆的方向に引かれるように緩めてやる。(よい離れが出来るように)

弓手の手の内、角見、肘等の捻りが弱いと、離れの際に弦が頬、胸、押手の前腕等を打つことがある。手の内等の働きは大切である。今までの一連の動作にて形の上では会に至ったとなる訳ですが、会に入ったと思わずにあくまでも引分けの延長であるんだと心に



明記し、縦線を利かし天地左右に伸合い発射の機を待つ訳です。離れではよしここで離そうとすれば動作に現れるので、あくまでも離そうと思わずに、押し、引いての(肘で) 気を持ちながら妻手の拇指を力強く撥ねてやる(矢筋にそって)。必ずや良き離れが生じる事でしょう。

体については、目に見える体の動作と、見えない動作がありこの動作が大切である。胴造りでは、重心を総体の中央におくとあるが体はやや前傾にとり、開いた足の土踏まずの辺に重心をとり、外八文字に開いた足の踵を踏み開くよう力を加えると、胴が利いてよい胴造りとなる。引分けでは、三重十文字を維持し両肘に気配りしながら左右均等に引分け弓と矢そして体との縦横十文字を正しく構成し、会では、縦線横線の規矩と五重十文字等の働きを利かし伸合い、詰合により胸廓を開くよう発射に至る。離れから残心へと射の終着となる訳ですが、例え的中しなくても、今の行射で何故的中しなかったのかと、見る人に感動を与えるような射品、射格のある行射をしたいものです。従って心・技・体は弓道では基本に則る、どの動作にも繋がっており、必要不可欠な存在でもあり、切っても切れない奥深い精神的な人格を磨く武道です。

講習会報告

本年新しく計画された『事前講習会講師講習会』は県連主催で開催される式段以下審査の事前講習会の講師となる人を主たる対象とし、その資質の向上と全県的なレベルの統一を図ることを目的としたものです。受講者は各地区の副会長からの推薦とし、講師はそれぞれの副会長が担当しました。

また従来からありました『中級者講習会』は講師を指導部員が担当することとしました。

今号ではこれらの講習会の報告を、受講者と講師として参加された方々にしていただきました。

「事前講習会講師講習会」に参加して

中高支部 郷道 隆志

高校時代にやっていた弓道を三十年ぶりに再開したのが平成十年の春でした。仕事と酒だけではなく趣味の一つ位ないと老後が寂しいかなという思いもあり、「弓道でもやってみるか」という単純な動機で弓道場へかよい続けて十四年目に突入してしまい、弓道



という趣味を通じて仕事も人生の生き方も違う仲間たちと知り合うことができ、仕事には関係ない世界での世間話、楽しい飲み会などもあり、「明るく・楽しく・朗らか」に弓道の練習をし、時には大会に参加して楽しんでいたのでした。

今回「事前講習会講師講習会」、二段以下の審査の事前講習会の講師をやるための講習会に参加して下さいといわれ、人に教えるなどおこがましい事であるが、そのような事もしていかなければいけない年齢になってしまったのかなあなどと思いつながら、講習会に

参加させていただきました。

「事前講習会講師講習会」とのことではあるが、講習会の時だけではなく普段から自分の道場に居る時もきちんと弓道の基本を自分自身が実践して教えて下さいね、という意味も含めた講習会なのかなと……

人に教えるということ、特に弓道を始めて間もない人たちに教えるということは非常に責任があることと思っています。教える人の全てを見られ、良くも悪くも、その教える人の色が反映されてしまう、射技・体配はもろんなること、道場内における態度・言動。果ては飲み会などにおける態度・言動も……見取り稽古されてしまう？

当日は、最初に審査の間合いで一手行射を行いました。が、「息合い」も何もあつたもんじゃなくてバラバラ、普段の練習の成果(?)が出てしまい、講師の先生は「指導する者がこんなんじゃない困るな、弱ったな」と思われたでしょうね。

その後の講習では「動作と息合いとは車の両輪に等しい、立ちを組んで行うには息合いがなければだめ」案の定、息合い・体配について重点的に指導されてしまいました。入場・退場まで全て息合いで行うこと、基本中の基本が普段の稽古の中でいかに出来ていないかが判明し、「指導者としての修練の

あり方について」を実感させられました。

講師の先生曰く「指導者として後輩の指導がキチンと出来るように、普段から自覚をもって修練して下さい、そのための講習会ですから」とのお言葉が身にしみた一日でした。又、教えることにより、自分自身も教えられ成長することが出来るようにしなければと。

四月二十二日の講習会当日は花冷えの肌寒い一日でしたが、講師の先生方に熱心にご指導いただきました。紙面をお借りしまして、改めてお礼申し上げます。



事前講習会講師講習会を受講する

上伊那支部 高仲 成人

四月二十二日(日)松本市弓道場において、標記講習会の中南信の部が行われた。

城下の桜は見事に満開だったが、朝からの曇天で花冷えの一日となった。

外薮、百瀬両副会長が講師である。各支部から、現在式段以下審査事前講習会の講師を務める先生方と、今後その任に当たって行く中堅会員が指名され、二十数名参加している。

式段以下審査事前講習会の受講生はほとんどが高校生であり、各校の指導事情によりそのレベルの格差は大きい。

外薮講師からは、「袴のはき方から



教えなければならぬ生徒もいるが、どうか愛情を持って見て上げていただきたい。出来ることなら、全員に合格して欲しいというのが基本姿勢だ。」

百瀬講師からは、「学校によって射技にその場ではどうにもならない程の癖があつたりするが、終始矢を身体と平行にかつ水平に、を全ての基準に見るようにしている。」などのコメントがあり、講習は始まった。

本講習会の趣旨は、事前講習会における会場ごとの差異を無くすことにある。それを全員が理解した上でのことなので、講師の意図と受講者の姿勢は十分に噛み合っており、気持ちの良い講習会になった。

学校の部活は閉鎖された環境で日頃の練習が行われているという、動かせぬ事情がある。必ずしも生徒たちの上達が画一的である必要はないにしても、公の審査という舞台へは、出来れば極端なハンデイがないレベルで臨んで欲しい。先輩として、私たちの願いである。

地方審査の事前講習会は、今ほどの規模ではなくとも、四十年以上前私が受講した頃から行われていた。普段は狭小な道場で練習をしている頃のことなの

で、会場の下見と、入退場要領の申し合わせを確認する程度が主な目的であり、平日の夜開催されたように記憶している。

それが時代とともに、体配そのものに、射技そのものの基本までも指導しなければならぬ事前講習会に変遷してきた。

それはもちろん、弓道の普及振興とともに高校大学の学生弓道が一気に開花した反動で、部活現場に指導者不足という事態が起こっているからに他ならない。

そのフォローも、この時代に弓を引いている私たちの責務にあたるのかもしれない。たった一日の事前講習会だがさらに充実することを願って、時に活発な意見を出し合いながら、参加した諸氏は真剣に受講した。

着装、体配、射技、矢の処理など初式段で押さえるべき最低限のレベルと、いうことを目安に、時間をかけて確認



された。

午後から冷たい雨も降り出す厳しいコンディションだったが、締めには、受講者全員がひと手行射を見ていただき講師を受けるといふ両講師からのご褒美があり、すこぶる満足な一日となった次第である。

平成二十四年度春の 「中級者講習会」を終えて

指導部 阿部 緑

今まで、中級者が受講できる講習会は「中央伝達講習会・中級者」しかなく、他に中級者対象の講習会を開催してほしいとの要望が出されてきました。その「中級者講習会」が四月二十九日に行われました。連休初日にもかかわらず、参段二十四名・四段二十二名、全体で四十六名の受講生が参加されました。県としての初めての「中級者講習会」は、思っていたよりも大勢の参加者で、喜ばしい講習会になりました。また指導部として四名が講師を務めるということも初の試みとなりました。

講習会は、先に男女に別れて袖捌き肌脱ぎ・櫛捌きの講習をし、その後一手指射。講師による模範演武。射技指導、仕上行射の日程で行いました。受講生は、私語もなく終始熱心に取り組んでいて好感が持てました。しかしながら中級者は、地元で稽古に励むということが多いせいか、地域ごとの差があるように感じました。とくに袖捌き肌脱ぎ・櫛捌きにはかなりの差があるようで、今後かなりの修練が必要に思いました。教本を常に読み直し、一つ一つの動作を確実に覚え稽古をして欲しいです。射法八節についても同様

で、自己流にではなく基本に戻り確実な動作を身につけて欲しいと思います。中級者は初心者と上級者との中間ではなく、上級者への第一歩ということを自覚していただきたいと思えます。

本年度は、秋にもう一度「中級者講習会」が計画されています。受講生の意見を参考にしたり、講師で話し合っ

て受講生と講師が信頼関係の築けるより良い講習会にしたいと思っています。



今まで、指導部は年間の講習会・研修会で会員の向上に効果が上がるようお役に立てればと思っていました。その名のとおり講師もということになると、その場でのタイミングを的確にとらえて指導する「指導力」を身につけなければならぬと感じました。講師としては未熟な部員に、全面的にバックアップをしてくださった土川会長からは「指導にも慣れは必要」とのお言葉もいただき慣れない講師の難しさを痛感しました。今後は、部員自身も稽古を重ね「信頼される講師」になれるよう努力したいと思っています。これからも、講習会・研修会等にご協力をお願い致します。



弓道合宿予約随時受付中！

野辺山洗心弓道場

近的道場 18人立1ヶ所 (床暖房完備)
12人立2ヶ所
遠的道場 1ヶ所

帝産ロッヂ

〒384-1305

長野県南佐久郡南牧村野辺山 1003

HP : <http://www.teisanlodge.com/>

ご予約・お問い合わせは 0267-98-2861

平成24年度北信越地区指導者講習会に参加して

松本支部 寺島 信夫

今年度の指導者講習会は上越市高田スポーツセンターにある弓道場にておこなわれた。私は、昨年富山でおこなわれた指導者講習会に引き続きの参加である。

会場では昨年一緒に受講した仲間や、昔からの仲間と再会した。見知った方々がいると言うのは心強いものである。講師の先生の中には相当厳しい方もいらっしやる。受講生も又六段以上の先生方である訳だから、必要以上に色々な緊張を感じてしまった。

主任講師は昨年と同じ茨木の範士八段 柴田猛先生と、もう一人宮城の範士八段 尾田俊市先生だった。昨年何を指導していただいたのかとメモノートを読み直した。

第一日目は、一手行射、介添え研修、グループミーティング、射技研修であった。開始にあたって主任講師の柴田範士から「基本にのっとって、また、弓礼・弓法問答集をもっと勉強して欲しい」とのお話があった。

柴田範士が受講生の一手行射をビデオで撮影し、パソコンで映しながら、その特徴を説明・批評した。言葉だけではなく、実際の画像を見ながら説明

を受けると、自分たちの長所、短所が明らかになり、自分も大いに反省させられた。

介添え研修では一グループ三人で行ったが、全体に姿勢と目使いの注意が多かった。

今回は新しい試みで、グループミーティングなるものを行った。「指導者の役割と責務」「指導方法」という課題に対し、一グループ五人に分かれて20分でまとめ、順番に5分間で発表する、というものだが、どのグループも同じ傾向の回答が多く、まとめるのに苦心していた。

模範解答を主任講師から頂いた。「指導者の責務と役割」は、公平、公正、指導力、熱意、信念、理念、やる気が必要で、特に伝統文化の伝承が大切な役割であるといわれた。

「指導法」は8つの方法がある。
①目標の明確化 ②方法の具現化
③成長を確認してやる ④励ましあう
⑤指導者の魅力 ⑥自己の有効感
⑦新しい環境作り ⑧心身の健康、自己を全部出して、自分を理解してもらう事が大事であると言うことだった。
射技研修では、個々の射について指

導を受けたが、今回の受講生に共通していたのは、手の内が大三から引き分け会にいたるまで、控えすぎているという事であった。

第二日目は、講師の先生の一つの射礼と先生が実射しながらの講習、射礼研修(持ち的射礼か一つの射礼)、射技研修、検定試験だった。

先生が弓を持って下筋を張るとはこうやって引くと実演し、その部分を実際に触っても良いといわれたので、遠慮なく触らせてもらった。筋肉、骨の向き動きは言葉で言っても簡単に指導できない、見た目の形だけで済ましてしまう。やはり相手の筋肉、骨の向き動きを触れて確かめられれば効果は上がるだろうと思った。

射礼研修で注意が多かったのは

- ① 跪坐に於いては、体が後ろにそらない
- ② 右ひざを付いて滑らせながら左ひざをつける
- ③ 一つの、持的射礼で本座に戻る時、物見返しの際の正面を向いての足裁きは体がそらないように
- ④ 膝が曲がらないようにするには新聞紙の上に足を乗せて足をすぼめる練習をする
- ⑤ 四人一つのでは四角でも、本座左の位置は膝の長さを考慮して少し斜めに行くこと
- ⑥ 本座まで戻った時は少し後ろ位に座った方が修正し易い、等の六点だった。

そして射技研修、検定試験を無事終

え、何とか二日間の研修が終わった。

今回の講習会では、指導とは正しい動作を自分が出来て初めて伝えられるものだと思えて感じた。ビデオでの講評は説得力があり、自分の射も言葉で聞くだけだとピンとこないものも、実際の画像を見ると納得できるところがあった。自由な雰囲気でも自由な位置で先生の指導を聞くことができ、両先生のぶれない指導と対処方法、受講者に対しての心遣いを感じ、私自身もこの様な雰囲気での講習会が出来たらよいと思えました。しかしまだまだ努力も練習も足りないと思われ、強く感じた講習会でありました。



私と弓道

長野支部 録士六段 等々力 純子

私が弓道と出会う切っ掛けとなったのは、大学の部活動の先輩の勧誘でした。「厳しいトレーニングの無い楽しい部活よ。」この甘い一言で二度と抜けられそうにない深くて苦しい不思議な魅力の迷路に入り込んでしまいました。

卒業後何年中断し、長男が小学校に上がったのを機に、四才の娘を連れ長野運動公園クラブで弓を再開することができ、的中だけを求めた学生時代とは全く異なった弓の世界を知ることができました。ここでは先生方や先輩の方々が、嫌な顔一つせず交替で娘の面倒を見て下さり安心して練習ができました。本当に有り難く今でも感謝の気持ちでいっぱいです。

十年程前から須坂の道場でも引かせて頂く様になり、高校生の利用の多いこの道場では、彼らの若々しい素直な大らかな射を目の当たりにして、自分の射の欠点をつくづく感じています。

去年からは松代文武学校の弓術所でも引かせて頂ける機会に恵まれ、全国的にも稀な文化財の中での行射は、まるで江戸時代にタイムスリップしたかの様で夢心地ですが、自ずと心身が引き締まり、貴重な経験をさせて頂いて



います。

一昨々年娘が二十才を迎えた時に、三十三間堂での大的大会に二人揃って参加することができました。振り袖、袴姿に着付けした何百人もの艶やかなお嬢さん達に囲まれ、まるで大輪のお花畑にいる様で一生の思い出になりました。

射は悩むばかりで解りきった自分の射癖をいつまでも直すことのできない自己嫌悪の連続ですが、的に中てたい気持ちを抑え、紙の的の向こう側の世界に繋がっていく心の修煉が必要だと思っています。家族の理解や弓を引ける環境にある有り難さを思いながら、今日も又道場に向かっていく私です。

弓仲間紹介

松本弓道会 清水 正郎

総勢百二十人を超える私たちの稽古場は松本市弓道場で市街地にあり松本城からも近い。春・秋の市民体育大会、松本城大会、護国神社大会(会場は同神社)、中信、北信越の審査会、研修会、時には全弓連の行事が行われる。会では月例射会や初心者弓道教室、和服での指導教室、教士指導教室、高校生弓道部指導等が行われている。

平日は午前から夜九時まで一般はもちろん高校生や大学生のクラブの稽古場となる。私は定年を控えた頃、初心者教室から仲間入りさせてもらった。ここ数年の和服での指導教室では、憧れの先生方が自ら稽古をつけてくれるのが感激だし身が引き締まる貴重な時間だ。十年経っても恥ずかしいことだが、弦で顔や腕を打ったり幕を抜いたり矢道までしか届かなかつたりすることがある。



稽古する仲間と共に受ける審査はいつも勇気付けられているのに、とんだ迷惑をかけてしまったことがある。同じ立で仲間は前、私は落ち、仲間は甲矢を当てた。私は意気込んで大きく打ち起こした。その時筈がこぼれた。審査の先生に促された大前の乙矢は外れた。「そんなの関係ないよ。」と言ってくれたけど申し訳なくて仕様がなかった。反省の稽古会で先生が「恥は一杯掻きなさい。人には言えない恥が一杯あるだろう。稽古で一杯出しておくのだ。」と言って下さった。松本市弓道場では数多くの行事が開催される。先日人手が足りないとのこと審査会場のお手伝いを仰せつかったが、一日終わっていささか疲れた。今まではいろいろの催しに自分の都合だけで参加していたが、こうした役割を果たしてくれる方々の尽力があつてこそ好きな弓が引けたのだ。いつの日か恩返しすべく今の目標「精一杯に引く弓」に一層稽古を励みたい。

京都定期中央審査を終えて

教士六段 中野 栄治

五月四日、当日は少し蒸し暑い日でしたが審査会場の都メッセは空調が効いてさわやかでした。何時も暑くなる汗が頬をつたいポトポトと流れ落ちるのを感じながら弓を引いていた事を思いだすと都メッセの環境は最高でした。ただ、蛍光灯の光は意外に暗く自分の目には的はいつもより暗く、見えにくい状態でした。思えば、今回は幸運な事が二つあったように思います。

一つ目は一次審査の時に乙矢が的をたたいて板付が的の中に入ってくれた事です。これは普通にある事ですが話は二日の日の弓道大会が始まる前に地元役員さん(京都府地連 副会長 山口喜由先生)と会場の設定や的の取り付け方法などいろいろな事をお話する機会がありました。その中で的枠の話があり「今、使用している的枠は面的縁の内側を出来るだけ円錐形に取ってたいた時に板付が的の中に入るように削っているんですよ」とのお話でした。その事が自分の為にしてくれたかのように乙矢は的枠をたたき、矢が横になるくらい的枠に弾かれながらも的中しました。

二つ目の幸運は二次審査の二人一つ

的射礼を一緒に行う方でした。年齢は八十四歳、佐賀県の百崎郁子先生で立射で行う先生でした。百崎先生が一番私が二番立ちでした。立射の方とは射礼を行う機会が無く戸惑いもありましたが打ち合わせをしていくうちにそれぞれのやりにくい所などを出し合って歩く速度は百崎先生に、礼のタイミングは私の方に合わせる事にして打ち合わせ終了。待つている間に百崎先生は「皆さんに迷惑をかけるないように一つの射礼は何度も練習して来たんですよ」などとお話をしながら心を落ち着けていました。いざ本番、定め

の座に正座して打ち合わせ通りに礼をする。息合いぴったり合う。歩行も互



いに息合いに合わせて気合いの入った歩き方が出来たように思います。乙矢を引き終わり本座に下った時、ふっと頭の中をよぎった事がありました。「あれっ、女性の立射は襷を掛けて出るので襷を外す動作は無いんだ。そうすると動いているのは自分だけだとすると審査員の目は自分だけを見ているんだ」と思った瞬間これはえらい事だと思えました。冷や汗がじわじわ、体はコチコチ。こんな事だったので二次審査は通過する事が出来ました。百崎先生は残念ながら通過する事は出来ませんでした。私にとっては本当にすばらしいパートナーでした。審査を受けているといつかは身、心、弓三位一体が合致し良い射

が出る話には聞いていましたが当日の私は四位一体の最良の日でした。最後にありますがこれまで御指導頂いた

先生方、毎朝一緒に練習し、励ましてくれた弓友、何時も励ましてくださった方々に心から感謝申し上げます。これから本当に大変な時期になると思いますが今まで勉強させて頂いた事など微力ではありますが弓道会始め県弓連に貢献できるような務めてまいりたいと思います。



大会結果

第21回県下弓道駒ヶ根大会

○4月1日(日)

駒ヶ根市弓道場

参加数・71チーム209人

▲団体(12射)

- 1位 弓魂(小沢、松本、山田)
- 2位 赤穂高男子A(新村、金安原)
- 3位 信大A(所、細谷、細田)

▲個人高校男子(8射)

- 1位 下澤優也(風越B)
- 2位 大越敦史(箕高A)
- 3位 井口武瑠(伊那北A)
- 4位 松崎大雅(岡工A)
- 5位 原将太(赤穂男子A)

▲個人高校女子

- 1位 元島瑞穂(下農A)
- 2位 小林もと(諏訪二葉)
- 3位 加藤真奈(弥生C)
- 4位 永田雪絵(諏訪二葉)
- 5位 岡本怜子(諏訪二葉)

▲個人一般

- 1位 山田静香(弓魂)
- 2位 小沢剛志(弓魂)
- 3位 春日貴(駒ヶ根C)
- 4位 西塚高雄(混成A)

- 5位 水田明美(駒ヶ根A)

平成24年度長野県勤労者弓道選手権大会兼第59回全日本勤労者弓道選手権大会長野県予選会

○4月8日(日)

駒ヶ根市弓道場

参加数・11チーム33名

(1人8射 1チーム24射)

▲団体

- 1位 山二発條(志村仁、今村文明、伊藤大幸)
- 2位 南信教員(中田真也、矢部誠一、古川忠司)
- 3位 長野県信用組合(吉田博行、塩澤宏幸、佐々木真弥)

▲個人

- 1位 市川隆光(諏訪市役所)
- 2位 今井文明(山二発條)
- 3位 平岩真吾(泰阜村社協)

第7回野辺山洗心弓道大会

○4月14日(土)～15日(日)

野辺山帝産口ツチ洗心弓道場

(近的20射、遠的20射、合計40射)

- 1位 中村宏 18中 19中 37中
- 2位 亀岡英司 18中 18中 36中
- 3位 中村薫 16中 11中 27中
- 4位 森泉拓志 10中 16中 26中

- 5位 原深雪 6中 17中 23中

第68回上信越弓道大会

○4月15日(日)

小諸懐古射院

一般団体の部

- 1位 桜佐久(中澤朗、栗田奈津美、栗田大輔、小山義弘)
- 2位 チームミエコ(亀井美江子、高橋智昭、斉藤久、笹原郁子)
- 3位 上田城Bチーム(手塚信幸、土屋明夫、高橋正弘、安藤教光)

▲一般個人の部

- 1位 伊藤梓
 - 2位 赤石清志
 - 3位 斉藤教光
- ▲金的賞
内山幸三、小林勇太、長岡昌、高橋智昭、橋本啓子

善光寺弓道大会

○4月22日(日)

善光寺弓道場

参加数・138名(8射)

- ▲男子個人戦
- 1位 伊佐治博紀(信州大学B) 7中
- 2位 永藤聡(須高支部) 7中
- 3位 飯田秀樹(尚弓会) 7中

- 4位 澤田石誠(信州大学B) 6中
- 5位 原周一郎(尚弓会) 6中

★4位～15位は同中競射による。

▲女子個人戦

- 1位 市川則江(善光寺A) 6中
 - 2位 江村志織(信州大学B) 6中
 - 3位 小林咲子(信州大学A) 5中
 - 4位 丸山晴美(飯山支部) 5中
 - 5位 坂田あかり(信州大学B) 5中
- ★3位～6位は同中競射による。

▲団体戦

- 1位 信州大学B(澤田石誠、坂田あかり、伊佐治博紀、宮下詩帆) 22中
- 2位 信州大学A(松本孝平、小林咲子、鈴江皇規、清水北登) 20中
- 3位 須坂(安藤直貴、小山謙太郎、牧正明、永藤聡) 18中

第39回近県弓道大会

○4月22日(日)

長野市運動公園弓道場

参加数・616名

▲男子団体(総射数40)

- 1位 須坂高校A(竹内裕亮、久保亮太、小林享平、関口大輔、山崎征樹) 28中
- 2位 上田高校A(田中慎太郎、林航平、滝沢慧大、花見一樹、坂口加緯) 23中

- 3位 松本美須々ヶ丘高校A(宮原 駿、三澤一輝、佐藤裕一郎、岩間 暁之、望月力) 23中

▲女子団体(総射数40)

- 1位 須坂高校B(武田千穂、市川夕貴 葉、駒津佳子、坂綾子、豊田友紀) 21中

- 2位 長野日大高校B(小池優佳、佐藤 愛、永江有子、福澤みあい、瀧澤 里帆) 20中

- 3位 上田高校A(小山珠旺、山口裕 希、舟見佳夏、有賀安央衣、近藤 萌里) 18中

▲個人

- 1位 竹内裕亮(須坂高校)
- 2位 大川美空(北部高校)
- 3位 山口裕希(上田高校)

第70回 護国神社例大祭奉納県下弓道大会

○4月29日(日)

護国神社弓道場

参加人数…一般61名、高校生136名、

合計197名

▲近的・個人(8射) 高校の部

- 1位 藤山菜々(大町女子B) 7中
- 2位 浦塚雅史(松商学園A) 7中
- 3位 山本星矢(南農男子) 7中
- 4位 岩垂優一(上田千曲A) 7中
- 5位 勝家優太(松商学園A) 7中

▲近的・個人(8射) 一般の部

- 1位 手塚信幸(上田城) 8中
- 2位 江本昂平(信州大学A) 7中
- 3位 高橋正弘(上田) 7中

▲近的・団体(24射) 高校の部

- 1位 松商学園A(富岡大輔、勝家雄 太、浦塚雅史) 17中
- 2位 上田千曲A(岩垂優一、花見美 洋、近藤卓弥) 17中
- 3位 松商学園D(丸山玉貴、松川友 里、小林なるみ) 15中

▲近的・団体(24射) 一般の部

- 1位 信州大学A(月森翔太、江本昂 平、原田進) 19中
- 2位 上田城(佐藤忍、羽田利矢子、手 塚信幸) 14中
- 3位 松本D(小越剛、浦野恵未香、高 際和美) 13中

第60回 飯田市民弓道大会

○4月29日(日)

飯田運動公園県営飯田弓道場

参加数…171名

▲個人の部

- 1位 大沢雅(下農B)
- 2位 堀内敬太(飯工B)

▲高校女子

- 1位 田口彩香(風越A)
- 2位 清水綾乃(飯女D)
- 3位 坂下愛(飯田C)
- 4位 北林彩子(飯田B)
- 5位 原成美(下農B)

▲男子(5人1チーム合計30射)

- 1位 秦慧児(飯工B)
- 2位 高橋一輝(阿南B)
- 3位 小杉山剛貴(飯田A)
- 4位 須坂高校B(竹内裕亮、久保亮太、 小林享平、関口大輔、山崎征樹) 19中
- 5位 須坂高校A(坪井大河、加藤和希、 小林慧人、勝山貴文、滝澤鋼一) 18中

▲一般

- 1位 平澤敏弘(矢真飛A)
- 2位 井原寿恵(豊丘B)
- 3位 常盤三男(松尾B)
- 4位 松島一夫(松尾A)
- 5位 坪井優(矢真飛A)

▲団体の部

- 1位 矢真飛A(中村健二、坪井優、平 澤敏弘)
- 2位 風越高校男子B(手塚啓文、熊谷 康平、下澤優也)
- 3位 松尾A(田畑隆夫、松島まゆみ、 松島一夫)

第56回 北信弓道大会

○4月29日(日)

飯山市弓道場

参加数…高校男子221名、高校女 子273名、一般男子57名、 一般女子25名、中学男子17名、

▲高校団体の部

▲男子(5人1チーム合計30射)

- 1位 長野日大(中村誠人、狩野森、川 又史也、佐藤悠成、大宮樹) 21中
- 2位 須坂高校A(竹内裕亮、久保亮太、 小林享平、関口大輔、山崎征樹) 19中

- 3位 須坂高校B(坪井大河、加藤和希、 小林慧人、勝山貴文、滝澤鋼一) 18中

▲女子(5人1チーム合計30射)

- 1位 長野東A(渡辺千穂、塚田めぐ み、小山暖加、青木裕菜、畑田京 子) 18中
- 2位 屋代C(翁像もも夏、戸谷香穂、 清水美有、白石悠乃、赤沼春菜) 17中
- 3位 屋代A(數本慈雨、林部由紀、橋 詰朱弥、栗木桃江、宮下紗由美) 15中

▲個人の部

▲高校男子(6射)

- 1位 大宮樹(長野日大) 6中
- 2位 伊藤和輝(長野工業D) 6中
- 3位 山田陽樹(中野立志館) 5中

▲高校女子(6射)

- 1位 山寄仁美(飯山北A) 6中
- 2位 白石悠乃(屋代C) 6中

★同中は、競射により順位を決定

3位 高野淑恵(長野西E)
中学生男子(6射)
1位 坂口裕紀(長野日大)
2位 五嶋和希(須坂弓道会)
3位 林晃汰(長野日大)

▲中学生女子(6射)

1位 米持奈々(長野日大)
2位 中村聖奈(長野日大)
3位 山崎愛海(長野日大)

▲一般男子(6射)

1位 安藤直貴(須高)
2位 栗林正直(小諸)
3位 笠井信夫(長野)
4位 宮坂和久(中高)
5位 丸山温(長野)

▲一般女子(6射)

1位 宮島さおり(長野)
2位 夏目澄江(中高)
3位 村越良美(長野)
4位 久保コト(長野)
5位 大原由美子(長野)

**第63回全日本男子弓道選手権大会
第45回全日本女子弓道選手権大会
長野県予選会決勝**

○4月30日(月)

松本市弓道場
▲男子決勝
平澤敏弘(飯伊支部)

田中正彦(松本支部)
宮坂博之(諏訪支部)
杉田博(松本支部)
奥山雄三(上小支部)

▲女子決勝

藤澤敏子(飯伊支部)
武田礼子(中高支部)
久保田智恵(上伊那支部)
高地美佐子(上小支部)
阿部緑(上小支部)

第61回住吉大社全国弓道大会

○5月1日(火)

大阪府(遠的)1人4射 3人1チーム
2位 長野県(混成チーム)市川隆光(諏訪支部)、根本充康(神奈川県)、亀岡英司(南佐久支部) 11中

第31回県下弓道木曾義仲大会

○5月3日(木)

木曾町日義 木曾義仲弓道場
参加数・一般51名、高校生96名、計147名
▲個人の部(一般・高校共通) 8射
1位 浦塚雅史(松商学園高) 8中
2位 棚田康介(飯田風越高) 8中
3位 富田大輔(松商学園高) 8中
4位 平林正至(岡谷工業高) 8中

5位 熊谷康平(飯田風越高)
団体の部(高校)(24射)
1位 飯田風越高A 21中
2位 岡谷工業高 18中
3位 松商学園高B 18中

▲団体の部(一般)(24射)

1位 木曾義仲A 15中
2位 木曾義仲E 13中
3位 駒ヶ根 13中

第39回佐久鯉祭り弓道大会

○5月5日(土)

佐久市駒場公園弓道場
参加数・一般100名、高校生99名、計199名

▲一般の部(個人・8射)

1位 中沢たみ江(佐久支部) 7中
2位 今井誠一(群馬県榛名支部) 7中
3位 池田文英(上小支部) 6中
▲高校の部(団体・3人×8射) 計24射
1位 岩村田高校A(宮沢大地、清水悠太、井出萌) 17中
2位 野沢北高校A(竹前優作、重田貴行、白田岳大) 15中
3位 野沢南高校B(松崎聖治、畠山知夏、小井出貴恵) 14中

藤射会

○5月13日(日)

豊丘村弓道場
▲個人戦(1人20射)

1位 平澤敏弘(豊丘村) 20中
2位 坪井優(飯田市) 19中
3位 松島一夫(飯田市) 18中
4位 林玲子(豊丘村) 17中
5位 中島啓(天龍村) 15中

▲団体戦(3人×12射) 計36射

1位 伊藤勲(飯田市)、唐澤徳(豊丘村)、平澤敏弘(豊丘村)
2位 笠原武明(松川町)、荒井清(阿智村)、西塚高雄(飯田市)
3位 鋤柄惟夫(飯田市)、田畑隆夫(飯田市)、井原寿恵(豊丘村)

**平成24年度ねりんピック長野県大会
兼全国大会長野県予選会**

○5月19日(土) 豊科弓道場

参加数・20名(12射)
1位 中島啓(飯伊) 10中
2位 堀内英征(上小) 8中
3位 山田清夫(松本) 7中
▲全国大会出場選手(10月13日~16日、仙台市)
中島 啓(飯伊)
堀内英征(上小) 監督兼
新崎睦美(小諸)

第49回 池田町弓道場開設記念県下弓道大会

- 小田切雄一郎(飯山)
- 中村尚子(安曇)
- 瀬田庫夫(小諸 補欠)
- 柳澤知恵(上小 補欠)

○5月20日(日)

池田町弓道場

参加数・高校生60名、一般50名(近的)

■個人の部(一般・高校共通)■

- 1位 松井幸彦(安曇)
- 2位 松井勇樹(松商学園B)
- 3位 竹山巖(北アルプス)

■団体の部■

- ▲高校
- 1位 松商学園B(幅谷穰、勝家優太、松井勇樹)
- 2位 松商学園A(富岡大輔、降旗悠介、浦塚雅史)
- 3位 穂高商業C(縣克典、西脇大智、佐藤和樹)

▲一般

- 1位 安曇(川上誠、丸山恒治、松井幸彦)
- 2位 菁我館(折橋光江、中村永子、堀田健一)
- 3位 駒ヶ根A(島本昌晃、南島健、竹村茂明)

第48回 小満祭弓道大会

○5月20日(日)

佐久市白田弓道場

参加数・26チーム、72名

▲個人の部

- 1位 小山義弘(佐久B)
- 2位 大井侑紀(上田東)
- 3位 生田憲克(岡谷工業B)

▲団体の部

- 1位 佐久B(中澤朗・金原正・小山義弘)
- 2位 上田東高校(大井侑紀・大澤滉平・金澤学)
- 3位 小海高校(長定達哉・中田樹・由井克佳)

三休協統合記念大会兼第55回 近県弓道上田大会(高校の部)

○5月27日(日)

上田城跡公園弓道場

▲男子団体

- 1位 須坂(月岡竜大、矢部岳史、松本崇太郎、町田拓武、青木利紘)
- 2位 上田A(田中慎太郎、林航平、滝澤慧大、花見一樹、坂口加緯)
- 3位 上田東B(石田稜、佐藤航佑、田中恭輔、堀内貴史、澤口大輔)

▲女子団体

- 1位 上田A(小山珠旺、山口裕希、舟見佳夏、有賀安央衣、近藤萌里)
- 2位 中野立志館(山口保奈美、峰村弥子、笠原優花、大川あん菜、出川奈津紀)
- 3位 篠ノ井(高木比奈乃、竹前沙耶、祖山紗緒里、川浦美穂、堀内真留)

第55回松本市民体育大会 春季弓道大会

○5月27日(日)

松本市弓道場

参加数・一般64名、高校生153名、合計217名

■個人の部(8射)■

- ▲高校
- 1位 富岡大輔(松商学園A)
- 2位 浅田稜二(松本深志高校B)
- 3位 金井美岬(松本深志高校D)
- 4位 早川大智(県々丘A)
- 5位 松井勇樹(松商学園B)

▲一般

- 1位 原田進(信州大学A)
- 2位 江本昂平(信州大学A)
- 3位 永治拓也(信州大学B)
- 4位 山本晶(医学部弓道部E)
- 5位 兼松暢(信州大学C)

■団体の部(24射)■

- ▲高校
- 1位 松商学園A(富岡大輔、勝家優太、浦塚雅史)
- 2位 松商学園B(犬飼直志、降旗悠介、松井勇樹)
- 3位 松商学園H(丸山玉貴、横山芽衣、小林なるみ)

▲一般

- 1位 信州大学A(月森翔太、江本昂平、原田進)
- 2位 信州大学B(鵜野沙都美、永治拓也、細田剛寛)
- 3位 医学部弓道部E(今野雅隆、山本晶、滝澤あゆみ)

平成24年度長野県高等学校総合体育大会 弓道競技会

○5月31日(木)～6月1日(金)

松本市弓道場

▲男子個人(12射)

- 1位 原雅幸(伊那弥生ヶ丘)
 - 2位 久保亮太(須坂)
 - 3位 大宮樹(長野日大)
 - 4位 小杉山剛貴(飯田)
- ▲女子個人(12射)
- 1位 新井美香(伊那弥生ヶ丘)
 - 2位 松澤明日美(諏訪二葉)
 - 3位 永江有子(長野日大)

4位 堀内怜利(上田染谷丘) 9中
▲男子団体

1位 松本美須々ヶ丘
2位 大町
3位 長野日大

▲女子団体

1位 飯田
2位 飯田女子
3位 松商学園

※北信越大会参加者(福井市)

団体男子 団体男子1位~3位
団体女子 団体女子1位~3位
個人男子 原雅幸、久保亮太、小杉山剛

貴

★大宮樹は団体に登録して参加
個人女子 新井美香、松澤明日美、永江

有子

※全国総体参加者
男子・女子個人 1位~4位
男子・女子団体 1位~2位

第29回無相大師奉賛弓道大会

○6月2日(土)

中野市営弓道場

参加数・一般49人(近的8射 一般個人戦)

1位 原田正浩(中高支部) 6中
2位 島本昌晃(上伊那支部) 6中
3位 郷道隆志(中高支部) 5中

第67回国民体育大会選手最終選考会

○6月9・10日

県営飯田弓道場

《少年男子》

有賀俊裕(伊那弥生ヶ丘高校)
田端光紹(飯田風越高校)
保木野克海(屋代高校)

大沢雅(下伊那農業高校) 補欠

《少年女子》

菅溪子(松本深志高校)
畑田京子(長野東高校)
金子実央(飯田高校)

菊原舞(野沢南高校) 補欠

《成年男子》

平澤敏弘(飯伊支部)
安藤直貴(須高支部)
志村仁(諏訪支部)

吉澤忠秀(諏訪支部) 補欠

《成年女子》

中村薫(諏訪支部)
井原寿恵(飯伊支部)
山田静香(上伊那支部)

高地美佐子(上小支部) 補欠

表彰

○平成24年度全日本弓道連盟

功労者表彰

叙勲受章者 旭日双光章

(スポーツ振興功労)

山川茂樹(上伊那支部)

昇段昇格者

◇「京都」定期中央審査

▽教士の部(5月4日)

中野栄治(上小支部)

◇「東海地区」臨時中央審査(岐阜)

▽錬士の部(5月26日)

吉田博行(松本支部)

▽六段の部(5月27日)

南島 健(飯伊支部)

平澤敏弘(飯伊支部)

◇「北信越地区錬士臨時中央審査(松本)

6月3日

伊藤貴啓(長野支部)

つづい

私の住む長野市松代には多くの史跡がありますが、その一つに幕末期に建てられた松代藩の藩校「文武学校」があります。校内には文字通り、文学所、剣術所、槍術所、弓術所等、文武両道の施設があります。

この施設の特徴は、国の文化財でありながら一般教室や稽古等に利用できるよう開放している点です。弓術所は他の武芸所と同様、太い棟木や垂木があらわになっている小屋組で、梁の屋根は檜皮葺、射場は四人立です。

ここでは、エコールド松代弓術専科の会員が、週一、二回定期的に稽古をするとともに、申し出があれば訪れた観光客に普及を兼ねた、初心者弓術体験教室が開催されます。

歴史的な建造物と専科会員の弓道衣姿が、松代城下町にマッチした光景は外国人を始め、観光客に好評を博している様です。この様な由緒ある弓術所で弓を引ける感激と、全国各地からの観光客が地元にもどり、文武学校での体験を話題にして下さる事で、多少なりとも弓道の普及に貢献させていただいているのではないかと...と一会員として密かに喜びを感じている次第です。

皆様も御一緒にいかがでしょうか?
(長野支部 加藤 明美)